

# 令和元年度 事業報告

平成31年4月 1日から  
令和 2年3月31日まで

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会

## 目 次

I 現況	1
1 事業	1
2 役員等	1
3 評議員	1
4 顧問等	2
5 事務局	2
6 地区組織	2
7 事業資金	2
II 理事会・評議員会等	3
1 理事会	3
2 評議員会	3
III 事業実施の概要	4
1 一般事業	4
2 普及事業	6
3 振興事業	7
4 助成事業	8
IV 登記事項、届出・報告事項	12
V 附属明細書について	13

## I 現況

### 1 事業

本会の定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- (1) 団体の行う吟剣詩舞に関する協力および援助
- (2) 吟剣詩舞に関する研究
- (3) 指導者の養成ならびに研究会および講演会等の開催
- (4) 発表会およびコンクールの開催
- (5) 吟剣詩舞功労者の表彰
- (6) 会誌および図書の刊行
- (7) その他目的を達成するために必要な事業

### 2 役員等（令和2年3月31日現在）

代表理事

会長 沼崎 富(星翁)

業務執行理事

副会長 八文字勝利(剛洲)、安永利一(江悠)、原 眞人(青柳芳寿郎)

専務理事 広渡英治

常任理事 加藤雅章、大田直樹、吉田茂男(魁桜)、山内直之(正風)、  
多田稔雄(正稔) 田尻誠行(向山侑吟)、黒田利忠(秀月)、  
宮川 進(紫朋)、山口英二(華雋)、山本 剛(賀陽)

理事 重吉富巳(岸ユキ)、内田のり子(寿子)、片桐正之、三橋陸雄(吟煌)、  
徳田良子(寿風)、山田則夫(静将)、横山信吾(精真)、  
山本憲一(兼正)、笠井俊生(栄俊)、山下勝昭(明穂)、  
氏原健一(容石)、田村和夫(天聖月)、杉山広子(翔鴻)、  
佐藤彰徳(翔風)、早淵淳子(河野鶴聲)、中山勝治(岳襄)、  
大本則夫(翠山)、渡邊明子(大伊達不朽)、妹尾桂子(藤上翔山)、  
小塩益廣(晃楼) (理事 35名)

監事 渡部行光、毛塚静子(静精)、清水伸一(穂晨) (監事 3名)

### 3 評議員（令和2年3月31日現在）

河田千春(臈泉)、足立 勝(育城)、松島康夫(南洲)、後藤ひろみ(月戈)、  
小澤武久(照風)、菊川禎恵(八千穂)、早淵 肇(鯉将)、濱元義行(邦雪)、  
渡邊賢次(皇洲)、澤石政勝(峯洲)、安田幸代(水鈴)、三藤芳生、鷺野正明、  
岸田輝夫、小峯 力、佐野慎輔、久米信行、中島健一郎、八代徹也、  
向井志穂子(成澤秀麗)、谷川真理、寺嶋靖廣(城靖)、粟野和子(電暉)、  
鈴木輝明(海洲)、久保田力(正峰)、小林章男(岳章)、渡美智子(精華)、  
藤嶋容美(寺山天洲)、熊木義雄(雪洲)、山下孝子(神燈)、  
小峯浩一(昊苑)、丹治 昇(独風)、石井光男(誠紀)、室橋幸子(谿月)、  
入倉幸一(昭山)、杉浦裕美(英容)、宇波敏明(千神)、山本演志、

臼井寛雄（寛洲）、久保義嗣（正鳳）、竹内隆一（淳泉）、多田和晃（正晃）、松葉 勲（水勲）、早崎とも子（麗城）、北川元明（水正）、稲田正胤（菖胤）、古田美和子（日下国心）、梶田勝美（鷹巖）、廣石隆司（菅源右光）、高木法生（法洲）、神田武志（清峰）、大島哲夫（需泉）、横山公三（公風）、内山宗信（靈崇）、稲積政治（清翔）、日野省三（鳳昇）、松井龍太郎（松聲）、原田重利（瑞祥）、林 建紀（靈山）、藤野 悟（昭鍊）、小田扶美子（葵 秀鳳）、赤峰郁夫（郁靈）、後藤幹康（滉靈）、淵上恵子（岳恵）、藤本大輔（誠堂）、伊東宣和（秀峰）、松川哲二（岳匠）、柿内正幸（岳正）、長谷部守（紫帛）、清水 一（錦洲）、矢橋奉源（奉城）、前濱俊明（錦城）、大澤三枝（雅翠）、中嶋茂男（宗聖）、亀山悦子（尚侑）、原弦太郎（青柳弦太郎）、藤井博信（芳洲）、胡中 緑（翠陽）、高山浩胡（鶴山）、春菜桂子（翔桂）、大野真里子（豊寿）、古賀千恵子（桜紅）、八代美恵（光晃子）、宮本和子（精秀）

（評議員 84名）

#### 4 顧問等（令和2年3月31日現在）

(1) 顧問	26名
(2) 元老	64名
(3) 相談役	336名
(4) 参与	535名

#### 5 事務局（令和2年3月31日現在）

所在地 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル 7階  
常勤役員2名、職員4名

#### 6 地区組織

本会には51の公認都道府県吟剣詩舞道総連盟（以下「公認総連盟」）があり、それぞれの地区に以下の8つの地区連絡協議会（以下「地区連」）を設けている。なお、東北地区連は、令和元年5月20日に、東日本地区連から分離独立する形で発足した。（括弧内は公認総連盟名）

- (1) 北海道地区連絡協議会（中央、南部、北部、東部、北紋：5地域）
- (2) 東北地区連絡協議会（青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島、新潟：7県）
- (3) 東日本地区連絡協議会（山梨、群馬、栃木、茨城、埼玉、千葉、神奈川、東京：8都県）
- (4) 中部地区連絡協議会（静岡、愛知、長野、富山、石川、福井、岐阜、三重：8県）
- (5) 近畿地区連絡協議会（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山：6府県）
- (6) 中国地区連絡協議会（岡山、広島、山口、鳥取、島根：5県）
- (7) 四国地区連絡協議会（香川、愛媛、徳島、高知：4県）
- (8) 九州地区連絡協議会（福岡、大分、佐賀、長崎、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄：8県）

#### 7 事業資金

本会の事業資金は、各種事業活動による事業収入、公益財団法人日本財団からの助成金、寄附金並びに資金運用の果実等による。

## II 理事会・評議員会等

### 1 理事会

#### (1) 第17回理事会

開催日 令和元年6月1日  
開催場所 笹川記念会館4階第1、2会議室（東京都港区）  
決議事項 平成30年度事業報告及び決算報告の承認及び内閣府への報告書類提出  
定款の改正を評議員会に諮る件  
吟詠・剣詩舞スーパーチーム制度規程の制定及び役員等の選考基準に関する規程改正  
報告事項 業務執行状況の報告  
出席等 理事出席28名、欠席5名、監事出席3名

#### (2) 第18回理事会

開催日 令和元年6月18日  
開催場所 笹川記念会館4階第1、2会議室（東京都港区）  
決議事項 代表理事、業務執行理事の選任  
顧問、元老、相談役、参与の選任  
出席等 理事出席34名、欠席1名、監事出席3名

#### (3) 第19回理事会

決議日 令和2年3月26日  
開催場所 新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面決議  
決議事項 令和2年度事業計画書及び収支予算書及び付帯決議の承認  
第9回評議員会開催  
報告事項 業務執行状況の報告  
同意者 理事35名（全員）

### 2 評議員会

#### (1) 第8回評議員会

開催日 令和元年6月18日  
開催場所 笹川記念会館4階第1、2会議室（東京都港区）  
決議事項 平成30年度事業報告及び決算報告の承認及び内閣府への報告書類提出  
理事・監事の選任  
評議員（欠員分）の選任  
定款の改正  
役員および評議員の報酬並びに費用に関する規程改正  
報告事項 今後のスケジュール等  
出席等 評議員出席75名、欠席8名

### Ⅲ 事業実施の概要

#### 1 一般事業

##### (1) 組織化促進事業

全国8地区連絡協議会の運営がそれぞれの書記局において行われるとともに、本部において全国地区連絡協議会代表者会議、支部において将来ビジョン会議を開催した。

##### ① 各地区連絡協議会の運営

- ◎各地区連絡協議会執行部会議等の開催
- ◎地区内の公認各吟剣詩舞道総連盟の組織運営への協力
- ◎地区内会員の掌握と会員間諸問題の調整
- ◎令和元年度の全国吟詠コンクール、全国剣詩舞コンクールの主催並びに全国決勝大会の運営実施。
- ◎青年吟剣詩舞道研修会の地区内参加希望者の推薦並びに吟剣詩舞道祭り及び全国吟剣詩舞道大会など振興会行事への協力

##### ② 全国地区連絡協議会代表者会議の開催

###### ◎第1回地区連絡協議会代表者会議

日時 令和元年6月1日

場所 笹川記念会館4階第5会議室

出席者 各地区議長、幹事長、書記長など28名

議題 令和元年度事業実施等に関する連絡会議

※例年3月にも開催しているが、新型コロナウイルス感染拡大のため今年度は中止となった。

##### ③ 将来ビジョン会議の開催

- ◎北海道地区 令和元年7月17日 (北海道)
- ◎東北地区 令和元年7月26日 (山形県)
- ◎東日本地区 令和元年6月03日 (東京都)
- ◎中部地区 令和元年8月20日 (愛知県)
- ◎近畿地区 令和元年7月13日 (大阪府)
- ◎中国地区 令和元年8月17日 (岡山県)
- ◎四国地区 令和元年7月20日 (徳島県)
- ◎九州地区 令和元年7月6日 (熊本県)

## (2) 協力援助事業

吟剣詩舞優秀団体の行う行事に対する協力及び援助を行った。

### ① 傘下団体の行う行事に対する協力援助

団体の行う吟剣詩舞に関する行事64件に対し、後援名義の貸与等の協力。

### ② 全国高等学校総合文化祭・吟詠剣詩舞部門に対する協力援助

青少年吟剣詩舞道育成基金運用の一環として、第43回全国高等学校総合文化祭（2019さが総文祭）吟詠剣詩舞部門大会の協賛を行うとともに、同大会参加校生徒並びに引率者に対する旅費の援助を行った。

開催日 令和元年7月28日

場所 唐津市民会館（佐賀県唐津市）

出演者 22府県249名

補助金 1,999,986円

### ③ 青少年育成推進のための協力援助

#### ◎青少年大会開催に対する協力援助

青少年吟剣詩舞道育成基金運用の一環として、以下の青少年対象の大会等を開催する公認総連盟に対し協力援助金（各100,000円）の交付等を行った。

- ・第61回記念愛媛県青少年吟剣詩舞道大会
- ・第40回栃木県高等学校吟詠剣詩舞発表大会等
- ・令和元年度岐阜県幼少青年吟詠剣詩舞発表大会
- ・広島県幼少青年による「吟と舞の祭典」

計 400,000円

## (3) 研究会開催事業

吟剣詩舞に関する専門委員会の開催を行った。

#### ◎第40回吟詠専門委員会

開催日 令和元年8月23日

場所 成田東武ホテルエアポート2階会議室（千葉県成田市）

出席者 吟詠専門委員11名ほか、オブザーバー3名

#### ◎第51回剣詩舞専門委員会

開催日 令和元年9月14日

場所 笹川記念会館（東京都港区）

出席者 剣詩舞専門委員10名ほか、オブザーバー3名

#### ◎第52回剣詩舞専門委員会

開催日 令和2年2月8日

場所 笹川記念会館（東京都港区）

出席者 剣詩舞専門委員10名ほか、オブザーバー3名

#### (4) 功勞者表彰事業

令和元年度吟剣詩舞大賞受賞者の選考並びに表彰を行った。

令和元年9月7日に第33回吟剣詩舞大賞選考委員会を開催し、吟剣詩舞文化賞及び吟剣詩舞功勞賞に次の5氏を選考し、第51回全国吟剣詩舞道大会の式典において表彰した。

吟剣詩舞文化賞 青野 紘三 さんしゃいん社社長・愛知県

吟剣詩舞功勞賞 渡辺 櫻虎 吟詠家・静岡県

〃 安永 江悠 吟詠家・愛媛県

〃 星野 紫虹 吟詠家・神奈川県

〃 多田 正稔 剣詩舞家・大阪府

## 2 普及事業

### (1) 広報活動事業

吟剣詩舞の周知宣伝のための広報活動を行った。

- ① 日本吟剣詩舞振興会Webサイトの運用促進を図った。
- ② 吟剣詩舞の広報を図るために、ムックの販売促進を行った。
- ③ 新聞、雑誌などへの広報活動を行った。



### 3 振興事業

#### (1) 発表会開催事業

吟剣詩舞普及のための発表会を開催した。なお、今年度は名流大会に代わり吟剣詩舞道祭りを笹川記念会館にて5日間にわたり開催した。

##### ① 吟剣詩舞道祭りの開催

日 時 令和元年5月1日～5日

場 所 笹川記念会館国際ホール（東京都・港区）

来場者 2, 200名

参加者数 400名

#### (2) 吟詠教本発行事業

吟詠統一教本(既刊図書)を作成配布した。( )内は前年度販売実績

・吟剣詩舞道漢詩集（絶句編）解説書	170	部(155部)
・吟剣詩舞道漢詩集（律詩・古詩編）解説書	75	部(104部)
・吟剣詩舞道漢詩集（続絶句編）解説書	137	部(110部)
・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集（絶句編）	310	部(459部)
・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集（律詩・古詩編）	278	部(117部)
・吟剣詩舞道アクセント付漢詩集（続絶句編）	424	部(338部)
・幼少年向けテキスト『はじめての吟詠』	19	部(78部)

#### (3) 会報発行事業

吟剣詩舞に関する広報並びに情報誌として、月刊「吟と舞」を発行した。

令和2年3月31日現在の有料発行部数は6, 015部（昨年度末6, 492部）である。

#### (4) 教材頒布事業

吟剣詩舞道吟詠集（CD、カセットテープ）の作成配布及び吟剣詩舞道伴奏集（同）の監修指定など、吟剣詩舞に関する教材の製作頒布並びに既刊教材の頒布促進を行った。

また、和歌の吟詠をまとめたCD「和歌新撰集「令和」」の製作頒布を行った。

( )内は前年度販売実績

教材としての吟詠集の製作頒布数

・令和2年度吟剣詩舞道吟詠集CD	3,790	本(3,910本)
・よみがえる名吟集CD	131	本(2,335本)
・和歌新撰集「令和」CD	100	本

教材としての伴奏集の製作監修並びに振興会指定数

・吟剣詩舞道伴奏集CDの指定数	1,155	本(478本)
・吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数	20	本(11本)
・続・吟剣詩舞道伴奏集CDの指定数	370	本(343本)
・続・吟剣詩舞道伴奏集テープの指定数	3	本(5本)

#### 4 助成事業（日本財団助成事業）

##### （1）吟剣詩舞普及振興のための全国吟剣詩舞道大会の開催

###### ① 事業の実施内容

「第51回全国吟剣詩舞道大会」の実施

日 時：令和元年11月9日～10日

場 所：国技館（東京都墨田区）

入場者数：10,000名（延2日間）

内 容

- ・吟剣詩舞特別企画構成番組「令和を祝して」の発表
- ・吟詠剣詩舞スーパーチーム企画構成番組「つなぐ君へ！Passion！」の発表
- ・ゲスト 石原詢子オン・ステージ
- ・全国吟詠合吟コンクールの開催
- ・全国コンクール優勝者演舞の発表

###### ② 事業目標の達成状況

例年日本武道館で行う吟剣詩舞界最大の催し「全国吟剣詩舞道大会」は、日本武道館が改装中のため、初めて両国国技館で開催した。

初日は改元を記念して創られた特別企画構成番組「令和を祝して」を、少壮吟士や一流の剣詩舞道家により上演。若手吟剣詩舞家で結成された吟詠・剣詩舞スーパーチームは「つなぐ君へ！Passion！」と題した企画構成番組を行い、また新曲「光芒」も披露し、若い力の胎動を感じさせた。ゲストの吟詠家でもある演歌歌手の石原詢子は歌とトークで華を添え、吟剣詩舞に馴染のない人にも喜んでいただいた。約5千人の観客を集めた。

2日目は、全国吟詠合吟コンクールの開催や全国コンクール優勝者演舞、幼少年2地区代表・高校生代表・地区連協推薦吟剣詩舞を上演。また、幕間には会場の国技館にちなみ相撲甚句も披露された。約5千人の吟剣詩舞愛好家や一般の皆様、マスコミ関係者にも堪能いただき、吟剣詩舞の普及振興及び周知に役立った。

###### ③ 事業費総額及び助成金等

事業費総額 121,094,473円

助成金 83,920,000円

自己負担分 37,174,473円

## (2) 吟剣詩舞普及振興のためのコンクールの開催

### ① 事業の実施内容

#### 開催日

- ア. 令和元年度全国剣詩舞コンクール決勝大会(以下「剣詩舞コンクール」) 令和元年9月15日  
イ. 令和元年度全国吟詠コンクール決勝大会(以下「吟詠コンクール」) 令和元年9月16日  
ウ. 令和元年度全国剣詩舞群舞コンクール決勝大会(以下「群舞コンクール」) 令和2年2月9日

#### 場 所

- ア. 剣詩舞コンクール 笹川記念会館国際ホール  
イ. 吟詠コンクール 〃  
ウ. 群舞コンクール 〃

#### 参加者

- ア. 剣詩舞コンクール (参加者総数 約8,500人)  
イ. 吟詠コンクール (参加者総数 約18,000人)  
ウ. 群舞コンクール (参加者総数 約5,500人)

### 内 容

剣詩舞コンクール及び吟詠コンクールは、年齢により6部門に分けて実施し、優れた吟剣詩舞道者の発掘を行った。剣詩舞群舞コンクールは、剣舞3名、詩舞5名のチームで行い、日頃の吟剣詩舞道精進の成果を競う場とし、優れた吟剣詩舞道者の発掘を行った。なお、令和2年3月8日に開催を予定していた第48回全国少壮吟詠家審査コンクール決選大会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

### ② 事業目標の達成状況

各コンクールそれぞれボランティアによる大会役員に支えられ県単位の第一次予選、全国8地区単位の第二次予選及び全国大会として決勝大会を行ったものである。近年の少子化等に伴い会員の減少が特に顕著にあらわれているが、コンクールを通じて幼少年の育成に力をいれ、確実に出場者を確保するとともに、これを更に推し進めることができた。

### ③ 事業費総額及び助成金等

事業費総額	20,077,720円
助成金	16,730,000円
自己負担分	3,347,720円

### (3) 吟剣詩舞普及振興のための講習会の開催

#### ① 事業の実施内容

##### 開催日

- ア. 青年吟剣詩舞道研修会 令和元年6月29日(土)～30日(日)  
イ. 少壮吟士夏季吟詠特別研修会(以下「少壮研修会」) 令和元年8月24日(土)～25日(日)

##### 場 所

- ア. 青年吟剣詩舞道研修会 成田東武ホテルエアポート  
イ. 少壮研修会 //

##### 参加者

- ア. 青年吟剣詩舞道研修会 79名  
イ. 少壮研修会 46名

##### 内 容

青年吟剣詩舞道研修会は2017年に行われた「第3回青年吟剣詩舞道大学」の際に参加者から強く開催を希望されたことから実施に至った。少壮研修会は少壮吟士候補及び少壮吟士称号取得者を対象に実施した。

#### ② 事業目標の達成状況

青年吟剣詩舞道研修会は全国から選ばれた青年吟剣詩舞家を受講対象とし、実技指導や外部から招いた専門家による座学を通じ、技量の向上を目指した。また、全国から同世代の吟剣詩舞家が集まるということで、受講者による交流、それぞれの地域についての情報交換なども行われ、充実した2日間となった。

少壮研修会は3月の少壮コンクールにて3回入選を果たした3名を含めた現役46名が参加。研修内容は少壮吟士たちの要望を聞き入れ、吟詠演習を充実。吟詠界に大きな足跡を残した作曲家船川利夫氏の薫陶を受けた3人の講師が、その教えを一人一人に伝えた。

#### ③ 事業費総額及び助成金等

- 事業費総額 10,380,063円  
助成金 6,600,000円  
自己負担分 3,780,063円

#### (4) 吟剣詩舞普及振興のための調査研究

##### ① 事業の実施内容

###### (a) 令和元年度政策委員会の実施

日 時 : 令和2年1月16日

場 所 : 笹川記念会館 4階会議室

出席者 : 12名(委員10名、役員2名)

###### (b) 吟詠・剣詩舞スーパーチーム研修会の開催

日 時 : 令和元年6月28日

場 所 : 成田東武ホテルエアポート

###### (c) 公式ウェブサイトの開発等インターネットを利用した吟剣詩舞の広報の促進

##### ② 事業目標の達成状況

###### (a) 令和元年度政策委員会

全国8地区にて行われた将来ビジョン会議で出された意見をもとに、解決すべき課題についての検討が行われた。「全国の吟剣詩舞愛好者一人ひとりが行動に結びつく、具体的な仕組みや働きかけを考えること」を目標として議論され、「吟剣詩舞が一般の方々と接する機会をいかにして作り出すか」ということが今後の議題となった。そのために、「各地域における吟剣詩舞を始めた人のきっかけや動機」「初心者体験教室や鑑賞のためのイベント開催といった地域での試み」「インターネット・SNSを利用した情報発信」「吟剣詩舞各流派の連絡先の開示」といったことなど、ノウハウの共有を全国で行い、実践に結びつくよう進めることが必要である。

###### (b) 吟詠・剣詩舞スーパーチーム研修会の開催

若手吟詠剣詩舞家により構成される吟詠・剣詩舞スーパーチームの、結成4年目にして初となる合宿形式での研修会を行った。国技館大会に向けての実技指導や意見交換に加え吟剣詩舞の広告塔として外部への情報発信を求められる立場にあることもあり、外部より情報発信の専門家を招き、座学を行うなどもした。

###### (c) 公式ウェブサイトの開発等インターネットを利用した吟剣詩舞の広報の促進

国技館大会などの節目に合わせた広報展開や、ウェブサイトとテレビ局を連動させた告知などを行い、吟剣詩舞道の広報促進に努めた。また、公式ウェブサイトの改修を行い、わかりやすさ・スマートフォンでの見やすさなどの改善を行った。

##### ③ 事業費総額及び助成金等

事業費総額 11,868,912円

助成金 11,770,000円

自己負担分 98,912円

#### **IV 登記事項、届出・報告事項**

##### **1 登記事項**

令和元年9月30日

・理事・監事・評議員の変更

##### **2 届出・報告事項**

令和元年6月30日

・事業報告等の提出（内閣府）

令和元年11月18日

・変更の届出（内閣府）

## V 附属明細書について

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定される附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年6月  
公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会